



世界初・日本発の津波防災プロジェクト 「#beORANGE」をスタート

愛知、静岡、高知の海をオレンジに。新しい津波防災を、世界へ。

一般社団法人防災ガール（代表理事：田中美咲 以下、防災ガール）は、これまでになかった“海の防災”・“津波防災”のあり方を、「オレンジ」をキーカラーに提唱・実現するプロジェクト「#beORANGE（ハッシュビーオレンジ）」を開始いたします。



「#beORANGE」公式サイト URL : <http://beorange.jp/>

■海の街にオレンジの旗を立て、「津波防災」を日常に。

————— 愛知県（田原市）、静岡県（下田市）、高知県（高知市）の海をオレンジにします。



日本の太平洋沿岸・海沿いの地域は、「南海トラフ巨大地震」による津波被害が懸念されています。「#beORANGE」プロジェクトでは、8月23日（火）に愛知県（田原市）、9月3日（土）・4日（日）に静岡県（下田市）、10月（予定）に高知県（高知市）にて、約100本の「オレンジフラッグ」の掲示を開始※します。

（※…各地域のハザードマップ・浸水予測図に基づき、指定の「津波避難ビル」や学校施設・マンション等に設置。期間等の条件は地域により異なります。）

「津波防災」が身近にあれば、人々の避難行動は加速し、二次的な被害を防ぐことに繋がる。

この考え方にに基づき、「#beORANGE」では各自治体・行政機関・地域の人々に、フラッグの意味を周知し、活用を継続でき、定期的な防災訓練に「津波防災訓練」を容易に導入できる仕組みを構築。「津波防災」の新しいロールモデルとして、他地域への展開を図ってまいります。



■人々が海と共存し続けるための、世界初・日本発の試み

「万里の長城」とも呼ばれる高さ10メートルもの防波堤をつくり、「津波防災の町」として有名だった岩手県田老町（たろうちょう）は、2011年3月、東日本大震災による津波で甚大な被害を受けました。

しかし今、東北・三陸沿岸では再び、総延長400キロもの「巨大防潮堤」が立てられようとしています。

「津波の被害が出たら、防波堤を作る。」

そのような対策だけでは、海との共存文化は衰退・人々の防災意識は希薄化し、また同じことが起きうる。

防災ガールは「同じことを繰り返す防災をやめたい」と思っています。

いつまでも同じことを繰り返す防災をもうやめたい



「TSUNAMI」は、いまや世界の共通語です。

数多くの津波被害に見舞われてきた日本には、率先して「人々が海と共存し続けられる仕組み」を作り、「地域を問わず、どこでも容易に取り入れられる津波防災モデル」として日本全国、そして世界に示していく使命があると考え、本プロジェクトの立ち上げに至りました。

防災ガールではこの新しく、シンプルな津波防災のモデルを、全国、そして世界へと発信してまいります。

■オレンジは、津波防災の色。



オレンジは、青の対照色とされ、海で遊ぶ人々・沿岸部で生活する人々にとって最も視認性の高い色です。

また、「失敗しても諦めない」「行動に移してから学ぶ」「喜びを分かち合う」という意味を持つと同時に、ショックやトラウマを表す色でもあります。

災害という脅威に、人はショックを受けるからこそ、「失敗しても諦めず」、「行動に移して学び」、「喜びを分かち合う」必要があります。

海に映える夕焼けの色・オレンジで、人々の心と命を繋ぎたいとの想いからキーカラーとして採択しました。

■海の日（7/18）は、都内でオープニングイベントを開催！



「#beORANGE」プロジェクトのスタートに伴い、来たる「海の日」にオープニングイベント（参加費無料）を開催。

老若男女誰もが参加でき、渋谷付近・お台場をオレンジで染めるウォーキングイベントです。

イベント詳細・参加申込ページ：

URL：<https://www.facebook.com/events/315460468786078/>

<本プロジェクトに関する報道関係者のお問い合わせ先>

「#beORANGE」プロジェクト 広報・PR担当：千田

TEL：080-3214-5319 MAIL：bosai.girl@gmail.com